



「その一言」

今年も残すところあと3週間ほどとなり、つむじ風吹く師走5年生の子どもたちが育てた稲穂は脱穀、もみすりを終え、今月の16日にはわら細工に取り組みます。1年生は生活科で、お手玉やあやとりなどの昔遊びを地域の方に教えていただく予定です。

年末から年始にかけていろいろな年中行事がおこなわれます。一連の正月行事には、長い伝統の中で培われた形と心意気が秘められています。お正月ならではの昔遊びとして、カルタ・こま・凧・福笑い・羽子板などがあげられます。これらの正月遊びは、江戸時代ごろ庶民の間で流行したようです。こまには、「辛抱（心棒）は金」と言われ、江戸時代は大人も熱中したと言われています。今年の冬は、お子さんと昔遊びを楽しんでみませんか？



さて、世界人権宣言が国連で採択された12月10日を「世界人権デー」と定め、12月4日～10日の一週間を「人権週間」としています。11月29日（火）の朝会で、東京にある幼稚園の元園長、高橋系吾さんの詩を紹介しました。

そ の 一 言

その一言で励まされ その一言で夢をもち
その一言で腹がたち その一言でがっかりし その一言で泣かされる
ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力をもつ ほんのちょっとの一言で

短い詩のなかに、一言の言葉が人の心に大きな影響を与えることが表現されています。たった一言で幸せな気持ちになったり、悲しい気持ちになったりした経験をもっています。慌ただしい生活をしていると、言葉遣いがぞんざいになりがちです。生活を振り返り、自分では気付かない「言葉のいじめ」「言葉の暴力」に注意を払い、心のこもった言い方や適切な表現が、できるようになるためには日々の努力が大切です。

4月号の学校便りでもご紹介しましたが、平成28年度の児童会のテーマは「み（みんなを大切に）ど（どんな時も）り（りっぱな小学生）です。」このテーマの始めにある「み（みんなを大切に）」の実現に向け、子どもたちとともに、教職員が一丸となり、今後も取り組んで参ります。

末筆ではございますが、今年も本校教育活動にご支援・ご協力いただきましたことをお礼申し上げます。

皆様、どうぞよいお年をお迎えくださいませ。